

つながる医療

口腔外科部長

みずのすすむ

水野 進 歯科医師

1989年 愛知学院大学卒業

●所属学会・資格 / 日本口腔外科学会指導医・専門医、日本顎顔面インプラント学会指導医・専門医、日本口腔科学会、日本顎顔面インプラント学会、日本口腔インプラント学会、日本顎関節学会、日本外傷歯学会、日本口腔ケア学会、旧club22会員、愛知学院大学歯学部顎口腔外科講座 非常勤講師、歯学博士

●専門領域 / 口腔外科

有病者歯科部長

まえださなえ

前田 早苗 歯科医師

1980年 愛知学院大学卒業

●所属学会・資格 / 日本外傷歯学会認定医、日本口腔外科学会、日本口腔科学会、日本顎顔面癌学会、日本口腔インプラント学会、日本顎関節学会、日本外傷歯学会、日本口腔ケア学会、旧club22会員、愛知学院大学歯学部顎口腔外科講座 非常勤助手、歯学博士
1991年デンマークの王立歯科大学（現在のコペンハーゲン大学歯学部）口腔外科インプラントチームで1年間研修
1992年ブローネマルク・オッセオインテグレーション・センター（東京、小宮山彌太郎院長のもと）にて研修

●専門領域 / 有病者歯科治療、歯科インプラント

口腔外科・有病者歯科

口腔がん、顎の骨折、顎変形症など
さまざまな口腔外科疾患から
歯科インプラントや有病者の歯科治療まで
幅広く対応しています。

総合大雄会病院の口腔外科・有病者歯科では、患者さまと診療所の先生方に「大雄会でよかった」と思ってもらえる医療の提供を目指しています。治療内容や特徴について、口腔外科・有病者歯科の診療部長である前田早苗医師と水野進医師に伺いました。

口腔顎顔面外傷治療例



〈初診時3DCT〉
顔面に多発骨折を認める



〈治療後〉
プレート、ワイヤーを用いて
整復固定術を行った。治療後
は食事の摂取が可能となっ
ている。

口腔外科・有病者歯科

かかりつけ医・歯科

当院医科との連携で、集学的治療の提供

口腔外科・有病者歯科では、口腔がん、良性腫瘍、顎変形症、外傷、炎症、嚢胞、顎関節症などの疾患および歯科インプラントの集学的治療をかかりつけ医、かかりつけ歯科や当院の医師と連携して行っています。

●口腔がん

PET-CT、CT、MRI、上部消化管の精査など局所と全身の評価を行った後に、手術、化学療法、病変部への線量を担保しつつ隣接する正常臓器への線量の低減が可能な強度変調放射線治療 (IMRT: Intensity Modulated Radiation Therapy) などを組み合わせて治療を行っています。



舌がん

●良性腫瘍

歯が原因の腫瘍と歯が原因ではない腫瘍があります。摘出する場合と開窓療法で腫瘍の縮小をはかって摘出する方法などがあります。腫瘍の種類や大きさなどによって治療方針を決定しています。

●口腔顎顔面外傷

交通事故、転倒などで顔や口の中を切ったり、歯が抜けたり、骨折を起こすことがあります。骨折については、噛み合わせ、咀嚼機能の回復も含めての治療を行います。歯が抜けた場合は、元の位置に戻す事が可能な場合があるため、抜けた歯を生理食塩水を含ませたガーゼに包むか、または牛乳に浸してお持ちください。

●顎変形症

骨格性の顔面の変形や噛み合わせの異常に対して、手術前に歯科矯正の専門医と連携して



歯列を矯正した後、外科的な歯科矯正術(顎骨形成術)を行うことで、機能的にも審美的にも回復できるように努めています。

●嚢胞

硬組織内に発生する嚢胞で最も多いのが歯根嚢胞です。歯が原因の嚢胞で歯を保存して手術を行うことが可能な場合があります。軟組織では唾液線から出る管が詰まったり、損傷したりして粘液嚢胞が発生します。各症例によって摘出、開窓療法など治療方法が異なります。

●抜歯

症例によっては初診当日に抜歯が可能です。入院での抜歯から外来通院の抜歯まで広くニーズにお応えしています。

●炎症

むし歯が進行した菌性感染症や、嚢胞や腫瘍の二次感染などから顎に炎症が波及すると骨膜炎や顎骨・骨髄炎を起こします。治療は抗菌薬を中心に対症療法を行い消炎後に原因の除去を行います。

近年、薬剤関連顎骨壊死がみられます。主な薬剤はビスフォスフォネート製剤で、がんの骨転移、腫瘍随伴性高カルシウム血症、多発性骨髄腫、骨粗鬆症などの治療薬によるケースも増加傾向です。これらの薬剤投与後、抜歯などの観血処置を行うと、顎骨壊死を発生する場合があります。治療法は確立されておらず当院でも慎重な対症療法を行っています。

●歯科インプラント

1993年からブローネマルク・システム・インプラントを行っています。歯の欠損部にインプラント(チタン製の人工歯根)を植立して噛み合わせを改善し、咀嚼、嚥下、口腔機能の回復を行っています。



インプラント上部構造 装着前 インプラント上部構造 装着

歯科インプラント1993年~2015年患者数(人)

男性	104
女性	177
合計	281

埋入症例数(本)

	埋入数	インプラント埋入後撤去となったが、再埋入できた症例数	インプラント埋入後撤去となったが、再埋入できなかった症例数
上顎	286	4	3
下顎	433	8	0
合計	719	12	3

●睡眠時無呼吸症候群

医科の先生と連携のもと口腔内装置を作製しています。

紹介患者数(人)

(2009年から口腔装置を作成。2009年からの累積数)

男性	73
女性	22
合計	95



口腔装置

その他、顎の関節が原因で起きる開口障害や痛みが発生する顎関節症に関する保存的治療から観血処置まで、また全身疾患のある患者さんを対象とした有病者歯科治療を行っています。

専門性を高め

患者さまの満足のための総合的な治療

常勤歯科医師5人、歯科研修医2人、歯科衛生士8人、歯科技工士1人体制で診療を行っています。必要に応じて医科と連携して治療をすすめており、さらに高度で専門性の高い医療を必要とする場合には、他の医療機関とも連携・紹介させていただいています。

当院は日本口腔外科学会、日本顎顔面インプラント学会認定の研修施設です。歯科・口腔外科疾患について、お悩みの患者さまがいらっしゃいましたら、お気軽にご相談、ご紹介いただければ幸いです。

詳しくは、地域医療連携室までお電話ください。

tel.0586-26-2366 (直通) fax.0586-24-9999

tel.0586-72-1211(代表) ●受付時間:月~金8:30~19:00 土8:30~12:30 ※祝日、年末年始、4月3日除く